

卒後臨床研修センター

1. スタッフ（平成23年4月1日現在）

センター長	呼吸器内科・准教授 坂東 政司
研修プログラム責任者	准教授 早瀬 行治
特別客員教授	教授 アラン・レフォー
副センター長	精神科・教授 西嶋 康一
副センター長	循環器内科・講師 新保 昌久
副センター長	消化器・一般外科・准教授 細谷 好則

大学病院連携キャリア支援担当

准教授 三瀬 順一

事務 渡辺 秀男、池田 由佳、
飯島 正恵

初期研修医 102名

2. 卒後臨床研修センターの特徴

平成16（2004）年4月に本館1階中央手術部跡地に設置され、平成17（2005）年2月に本館西棟3階に移転した。平成16年度から必修科された卒後2年間の臨床研修の管理が主業務である。研修医の採用、研修ローテーションの調整等の他、研修医向けの教育講演、セミナー等の開催も行っている。

3. 実績・クリニカルインディケーター

採用年度(平成)	16	17	18	19	20	21	22	23
募集定員	72	55	55	60	60	60	60 (56)	60 (56)
マッチング	47	54	55	60	60	56	43	56
採用者総数	50	52	55	60	60	56	44	58
シニア進級者	33	40	41	43	45	47	—	—

研修医出身大学

愛知医科大、秋田大、旭川医科大、岩手医科大、愛媛大、大分大、鹿児島大、金沢医科大、金沢大、川崎医科大、岐阜大、熊本大、久留米大、群馬大、高知大、埼玉医科大、佐賀大、札幌医科大、滋賀医科大、島根大、昭和大、信州大、筑波大、帝京大、東海大、東京医科大、慈恵会医科大、東京女子医大、東大、東邦大、徳島大、獨協医科大、鳥取大、富山大、奈良医科大、新潟大、日本医科大、浜松医科大、弘前大、福島県立医科大、宮崎大、山形大、山梨大、和歌山県立医大、自治医科大

4. 事業計画・来年の目標等

- ・研修環境の改善に向けて、指導医の処遇改善を図る。
- ・研修医のニーズに合わせた魅力的な研修プログラムの検討と実施。
- ・研修医確保強化策の一環として昨年から実施した、春季及び夏季セミナー（各診療科の協力のもと実技を中心とした選択コース別セミナー）については、全国から多くの医学部生が参加し好評を得て応募者数の増加の大きな要因となった。このため、引き続きより内容を充実させての開催を予定している。